

大学院学位論文評価基準（博士後期課程）

工学 研究科・システム創成工学 専攻

（評価基準）

学位論文について、研究科のディプロマポリシーに基づき、以下の基準により総合的に評価して合格とする。

なお、この基準に定めるもののほか、専攻分野において必要なものは当該専攻が定める。

博士論文の審査にあたっては、以下の項目を評価基準として考慮する。

（評価項目）

1.研究目的、意義について

- ・研究の目的、意義が学術的あるいは社会的に先駆性、妥当性をもつこと。

2.先行研究の理解と提示

- ・問題意識が明確であり、先行研究を踏まえ研究の位置づけが適切であること。

3.独創性について

- ・研究が当該分野において新規性、独創性を有し、学術的な貢献が認められること。

4.研究の方法について

- ・研究が科学的な方法に従って行われ、信頼性の高い資料、実験・測定結果に基づいていること。

5.論証方法と結論について

- ・概念、表現および論旨が正確であり、適切な論証が行われ、学術的に価値ある結論が導かれていること。

6.論文の形式、体裁について

- ・論文構成が論証の方法に従って適切でありバランスがとれていること。